



さきやまぶ

防災・減災

のためには 日頃の備えから

2021年9月1日現在

世帯数	: 5,398戸
男	: 5,753人
女	: 6,116人
合計	: 11,869人

令和3年7月、8月の大雨や台風は各地に甚大な被害をもたらしました。8月の大雨の際には地区内でも、大雨による土砂災害の危険が高まり、里山辺公民館に避難所を開設し、避難者24名の受け入れをしました。

この様な災害のリスクが高まった時、自身や家族の身を守るためには何が必要か。こういった事を考えるきっかけになればと、7月4日(日)に里山辺公民館と里山辺地区自主防災連合会の共催で、信州大学地域防災減災センター長菊池聡先生をお呼びして、各町会長や防災部長を中心に出席していただき、講演会を開催しました。先生のお話は、主に心理学の観点から身を守るために必要なことは何かを教えてくださいました。例えば、令和元年9月の台風災害の際に避難をしなかった理由の調査を行ったところ、「被害にあうとは思わなかったから」と言う回答が最も多く、次いで多かつ

たのが「これまで被害にあつたことがなかったから」という回答でした。

この様に、人間には自身にとって危険だつたり都合が悪かつたりする状況を見逃しや過少視する傾向があり、なかなか避難行動に移らない場合が多いそうです。そういった方々にとどのような声掛けが効果的かなど、興味深い講演内容でした。

この講演会の内容を参考に、9月4日(土)に里山辺地区自主防災訓練を里山辺体育館で行いました。コロナ禍ということもあり、参加人数を減らし規模を縮小しての訓練となりました。避難所は、避難者の皆さんによる「自主運営」が大前提となるため、自ら積極的に運営出来るように避難所の開設までの手順を確認しました。それぞれの役割の班に分かれ、避難者の待機場所の確認やトイレの使用ルール作成、防災倉庫からの必要物資の運び入れ、簡易ベッ



簡易ベッド組み立ての様子

ドと居住区画確保のパーティーショの組み立て等を行いました。

避難のための自宅での備えも大切ですが、その後の避難所での生活までを想定した備えが必要となります。自身の家族、町会、そして地区全体とそれぞれの役割を確認し合い、いざという時への備えにしたいですね。

わが町紹介

上金井 子ども会と 造る花広場

十年来地域の景観形成のために続けてきた「空地に花咲かそう会」の活動も会員数の漸減から活動範囲の縮小を余儀なくされてきました。その中で昨年度から子ども会に参加していただくことになり花広場を協働で造ることになりました。4月の種まきから始めて8月まで月1回の草

取りを会員14名と小学生の子ども21名、保護者16名で行い、現在花広場にはマリーゴールドが綺麗に咲き揃っています。雑草の中には特定外来植物のアレチウリが増えてきており、一緒に探して根から抜き取って観察し、葉っぱのよく似たクズとの違いも覚えることができました。やがて子ども達も大人になって外に出て行きいつか帰って来た時、この花広場が残っていれば思い出の故郷に感動することと思います。住んでみたい、住んでよかつたと思え



活動の様子

るような誇れる郷土造りが子どもから大人まで力を合わせてできればいいと願っています。

上金井公民館長 佐々木 幸一

つながろう会の 手作りベンチが設置されました!



皆さんで座っておしゃべり

地区生活支援員の活動を応援する為に発足した「つながろう会」の男性会員で、今年の6月から作製していた6基の手作りベンチが遂に設置されました。最初の設置場所は、ベンチの材料の一部に使われた樺のある八坂神社です。

今までは、散歩で八坂神社まで来ても休憩場所は石段に腰かけるだけでしたが、ベンチを神社の西側に2基設置し、背もたれに寄りかかりながらゆったりと休憩が出来ます。

よく散歩で八坂神社に立ち寄る方は「ここは景色がいいからゆっくり出来る場所が出来て良かった」「色がいい、皆さんで作ってくれてありがたい」と話していました。

ベンチは残り4基で、設置を希望された林町会、西荒町町会、藤井町会に1基ずつ設置します。

夏の美ヶ原ウォーク

爽やかな空気を感じながら歩いた



▲茶白山山頂で

高原の爽やかな空気と、美しい景観を求めて7月18日(日)に、参加者10名で「夏の美ヶ原ウォーク」と題し、公民館講座の一環として美ヶ原まで行きました。

コースとしては、茶白山の登山口から山本小屋までの総距離6.7kmを約4時間かけて歩きました。難易度が中級コースということもあり、登山口から登りが続き、あつという間に息が上がる程でした。青空が三面に広がる快晴で遠くの山々がとても美しく、富士山の頭を少し見ることでもできました。さらに、ウォーキングコースの脇には7月に見頃のハクサンフウロやウツボグサ、コケモモ等の高山植物が美しく咲いていました。そんな中を、参加者全員がたくさんの汗をか



▲遠くに見える電波塔

夏休みの思い出に 薄川で親子で魚つかみ体験・水中生物観察



魚はどこにいるかな?

7月30日に夏休み恒例の薄川での魚つかみ体験と生態観察を行いました。夏休みの思い出に沢山の子供達が参加しました。

冷たい水の中を走ったり、泳いだりしてニジマスを追いかけ「そっち行つた!」「とつた!」という元気な声があふきました。魚つかみ体験の後は、エクセラン高等学校環境科学コースの皆さんとともに、薄川の生態観察を実施しました。学生の皆さんも、普段の研究成果の発表の場が無くなり活動が制限される中、「この様な機会に子供達と一緒に活動が出来て良かった」と話していました。ハゼやヤゴなどを見つけて興味深そうに観察している子供達は今後、川遊びに親しみ自然環境について考えるきっかけになればと感じます。

さとのわファーム 夏の収穫祭!

さとのわファームで育てたトウモロコシとスイカの収穫を行いました。今年のトウモロコシは長雨の影響か、成長できず植えたものは全滅となつてしまいました。しかし、こんなこともあろうかと別の畑で育てたトウモロコシを収穫祭で使うことが出来ました。少し醬油を垂らし、焼きもろこしにして皆さんで美味しく食べました。



焼きもろこしとスイカ おいしいね!

スイカについては順調に育ち、大小合わせて12個収穫できました。食べられるまでに成長したのは半分程でした。食べられる大ききものは、皮が少し厚かったものの赤く、甘さも程よくありました。次は10月収穫予定のサツマイモです。順調に育つて、無事に収穫できるかたのしみです。

第17回マレットゴルフ大会 (8/24)結果

- 優勝 男子 小島 宏
- 女子 武田 通子
- 準優勝 男子 山田 光雄
- 女子 大野 富美子
- 第3位 男子 久根下 三千員
- 女子 小島 茂子

山本選手お疲れさまでした!

東京オリンピックのマウンテンバイククロスカントリー日本代表選手として出場した山本幸平さん(藤井町会)。7月26日(月)に競技が行われ、29位でゴールされました。今後は、マウンテンバイクの普及活動や後進育成に取り組みます。

地区行事の中止について

新型コロナウイルスの感染防止の観点から以下の事業は中止となりました。

- ・第38回松本市長杯争奪球技会ブロック予選 10月12日
- ・第68回地区大運動会 10月17日
- ・第47回文化祭・福祉ふれあいフェスティバル 11月6・7日

館報さとやまへ平成版追加予約を受け付けています。

里山辺公民館では平成140号(7年11月号)以後、平成147号(7年11月号)までの館報140号を平成版として発行することが決定しました。一冊2,000円で追加予約を受け付けています。申込先:里山辺公民館 (TEL32-1077)